

【FD 報告】

感染状況等に左右されない高品質な 教育の継続に向けての取り組み

横井 隆志

はじめに

2020 年初頭、新型コロナウイルスの感染が拡大し、2 月末には小中高校に休校要請がなされる事態となった。新年度の授業実施が困難になることが予想され、多くの大学がオンライン授業の実施を模索する中、本学も、3 月より、オンライン授業の実施を念頭に、オンラインミーティングサービスの選定とオンライン授業実施の枠組みの構築を急ピッチで進めることとなった。感染状況が改善する兆しが見られない中、3 月末には東京オリンピック・パラリンピックの開催延期が決定。4 月 7 日には東京都を含む 7 都府県に緊急事態宣言が発出され、16 日には全国に拡大されるという状況の中、4 月 16 日に一部授業科目と論文指導をオンラインで開講し、5 月の連休明けに全授業をオンラインで開講するに至った。

本学の教員、在学生のいずれにとっても初めての経験となるオンライン授業の実施にあたり、教員向け、在学生向けのマニュアルの作成を進め、4 月 15 日と 5 月 8 日に、ZOOM による FD 研修を実施した。

オンライン授業実施の枠組み

現職を持つ社会人が在学生の大半を占める

本学では、従来から、時間的制約、物理的制約を最小化して、いつでも、どこでも学ぶことができる環境を提供することを念頭に、クラウドによる授業資料の配付等、ICT の活用を積極的に行ってきた。2019 年度からは本学のメールサービスで利用している Google のアカウントで利用できるクラウド型 LMS (Learning Management System: 学習管理システム) の Google Classroom を導入し、授業の資料の配布や課題提出、毎週の修士論文の草稿の提出とフィードバック等は、全て Google Classroom 上で完結するかたちで授業を実施している。当初は感染症の拡大といった事態は想定していなかったが、結果的には、先行して LMS の利用が定着していたことが幸いし、2020 年度は、Google Classroom とオンラインミーティングサービスの ZOOM を組み合わせることでオンライン授業の実施体制を構築した。

対面と変わらない高品質な教育の提供 を目指して

オンライン授業の実施にあたっては、本学で IT 領域の科目を担当している筆者が中心となり、3 月から、執行部の教員や事務局と協議を重ねながら、ビデオチャットサービスの選定等を行った。検討を開始した当初の段

階から一貫して念頭に置いたのは、本学が提供すべき教育のあり方を常に意識しながら、感染症に対する緊急事態への消極的な対応ということに止まらず、教室で対面で実施する授業と比較して遜色ない教育の質を担保することを大前提とする、ということであった。

また、本学は、ほぼ全ての学生が税理士試験の科目免除を念頭に、修士論文を執筆することを目指して入学しているため、オンラインという環境下で論文指導の質を低下させないことも極めて重要なキーポイントであった。

Google Classroom と ZOOM によるオンライン授業の実現

ビデオチャットサービスの選定にあたっては、複数のサービスをテストし、サービスの安定性、インターフェースを含めた利用のしやすさ、画面共有等の教育に必須の機能の使い勝手等々を総合的に判断し、ZOOM を利用することを決定した。ただ、ZOOM の利用にあたっては、不安要素が残されていたことも事実である。ZOOM は、過去に不正アクセスによりユーザーID が流出した事例があったこと、また、オンライン授業に利用され始めた段階で授業を履修していないユーザーが不正に授業のミーティングに侵入し、音声や動画を流して授業を妨害する、いわゆる“ZOOM 爆撃”等の事例も報じられていた。筆者もこれらのリスクを把握し、ZOOM の利用を決定してからは、リスクを最小化してオンライン授業を実施する枠組みを構築することに苦心した。一部の在院生からも、ZOOM の利用にあたり、セキュリティ面の不安を訴える声が挙がったため、前期のオンライン授業実施にあたっては、以下のようなポイントを重視して運用方法を決定した。

一つ目のポイントは、ユーザーID の流出と

いった事態が生じた際に、在學生に影響が及ばないこと、二つ目のポイントは、第三者による授業への不正アクセスを防止することである一つ目のポイントへの対応としては、在學生は ZOOM のユーザー登録を行わなくても授業を行うミーティングの URL とパスワードを知っていれば授業に参加できる枠組みを構築した。二つ目のポイントへの対応としては、各回の授業ごとに、授業を担当する教員がミーティングを設定し、URL とパスワードを発行して、本学の学生・教職員のみアクセスが限定される Google Classroom に、ZOOM URL 等の情報を集約することであった。

ZOOM を利用するもうひとつのポイントは、レコーディング機能の活用である。授業の様相を動画で収録し、必修科目等の一部科目では、YouTube に限定公開というかたちで動画をアップロードし、履修者に限定して、オンデマンドで授業を視聴することも実現した。従来から、社会人の学びを支援する枠組みとして、必修科目の授業は DVD に収録して貸出を行うサービスを提供しており、YouTube による限定公開での授業動画配信がそれを置き換えるかたちを実現したのである。

オンライン授業の教育効果

ZOOM によるオンラインでの授業や研究指導の実施は、当初予想していなかった効果をもたらした。中でも非常に高い効果を発揮したのは、画面共有機能である。特に、論文指導では、教員もしくは受講生が論文を執筆している Word の画面を共有し、直接手を入れながら議論することで、対面を上回る、極めて濃密な指導を実現するに至った。また、筆者が担当する IT リテラシーのような、パソコンを使った実習を行うような科目でも、手元のディスプレイに画面が共有されることはプロ

感染状況等に左右されない高品質な教育の継続に向けての取り組み

ジェクターで投影するよりも遥かに高い視認性を実現できることは大きなメリットと言える。更に、ミーティングを小グループに分割できるブレイクアウトルームを活用する事により、グループワークを実現したり、個別にフォローを一行うことが可能になるなど、工夫次第で高度な双方向制を確保することも可能であり、ZOOM によるオンライン授業を通じて高い教育効果を実感することができた。

オンライン授業に対する在学生の評価

前期の授業を終え、FD 委員会で後期の授業実施方法を検討するにあたって、8 月末、

後期の実施にあたって、全在学生を対象にオンライン授業への満足度や後期の授業実施方法への希望を問うアンケートを実施した。アンケートは、Google Forms を利用し、回答者の ID の収集も行わない完全匿名で実施し、在学生 132 名 (2020 年 4 月 1 日時点) 中 60%、80 名の回答を得た。

オンライン授業への満足度は、非常に満足と回答したのが 31 名 (39%)、どちらかといえば満足が 36 名 (45%) で、全体の 84% が満足との回答を得た。後期の授業実施方法への希望は、オンラインで実施を希望する回答が 44 名 (55%)、オンラインと対面の組み合わせを希望したのが 33 名 (41%) となった。

記述欄では、対面で指導を受ける機会を求める声や、板書の見やすさや回線状況、音声の状況などの改善を要望する声も一定数、含まれていたものの、オンライン授業と対面授業との際はほとんど感じない、通学の負担が軽減された、完全のリスクなく受講できてよかった、など、オンライン授業を評価する声が多数寄せられた。

後期に向けてオンライン授業実施体制のアップデート

FD 委員会等での検討の結果、後期も原則としてオンラインで授業を実施することが決定された。後期のオンライン授業実施にあたっては、この間の度重なる ZOOM のアップデートによるセキュリティーの向上と、大きなトラブルなく前期に運用できたことを受け、運用方法を大きく変更した。具体的には、前期は毎回の授業に個別に設定していた ZOOM ミーティングの URL を、授業科目ごとに 15 回共通のミーティング URL で実施するように変更した。さらに、大学院の Gmail アカウントで ZOOM に登録し、授業科目ごとに、ミーティングを登録制にして、登録参加を申請し、事務局によって承認された履修者のみが授業に参加できるようにしたのである。更に、全授業の URL の設定等は、事務局が一括して行うようにして、動画のアップロードや出席の確認も事務局が担う体制を確立できたため、オンライン授業実施にあたり教員の負担が大幅に軽減され、教員は授業実施に専念できる体制となった。

おわりに

本講執筆時点で、後期も終盤に入っている。前期の取り組み、そして、後期の 3 分の 2 を終えて、各教員、担当科目の特性にあわせた教育方法の工夫を行っており、後期第 10 回のタイミングで実施した中間授業アンケートでも、概ね良好な回答を得られている。

本学では、2021 年度もオンライン授業を中心に展開することを決定した。新型コロナウイルスの感染等、どのような状況で新年度を迎えることになるか、不透明な部分が多いが、感染症等がいかなる状況であろうとも、環境

感染状況等に左右されない高品質な教育の継続に向けての取り組み

に左右されることなく高品質な教育の提供を継続することができる体制を構築できたことはコロナ禍の中で奮闘した2020年度の大きな成果であったと言える。

今後、FDやSDの機会をさらに充実させ、教育方法の相互共有や開発を更に進めて、教育の質の更なる向上を追求して参りたい。

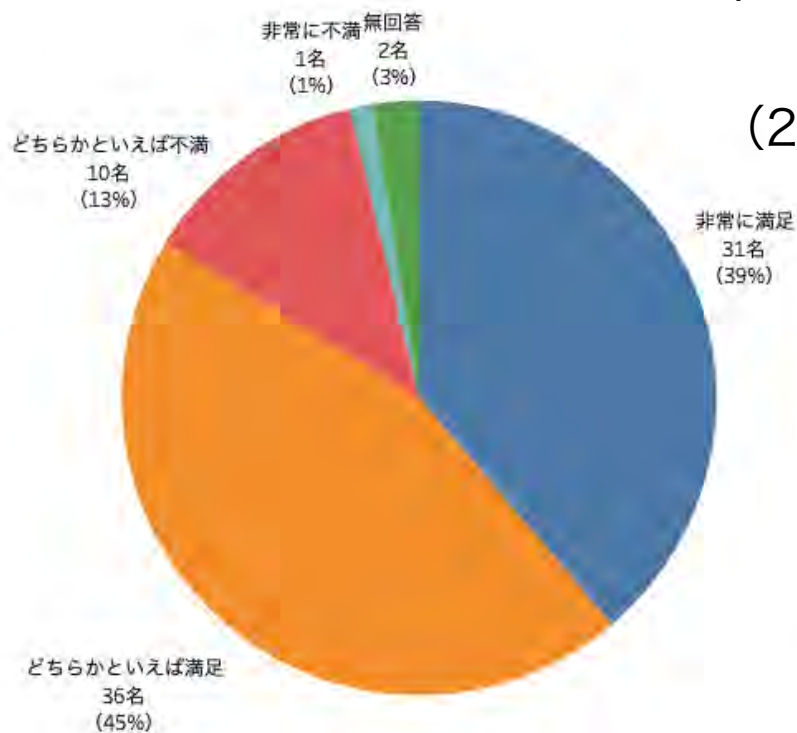
2020年度後期 Google ClassroomとZOOMの 設定と利用方法について

LEC会計大学院 FD研修
2020年9月29日

担当：横井隆志
yokoi.takashi@g.lec.ac.jp

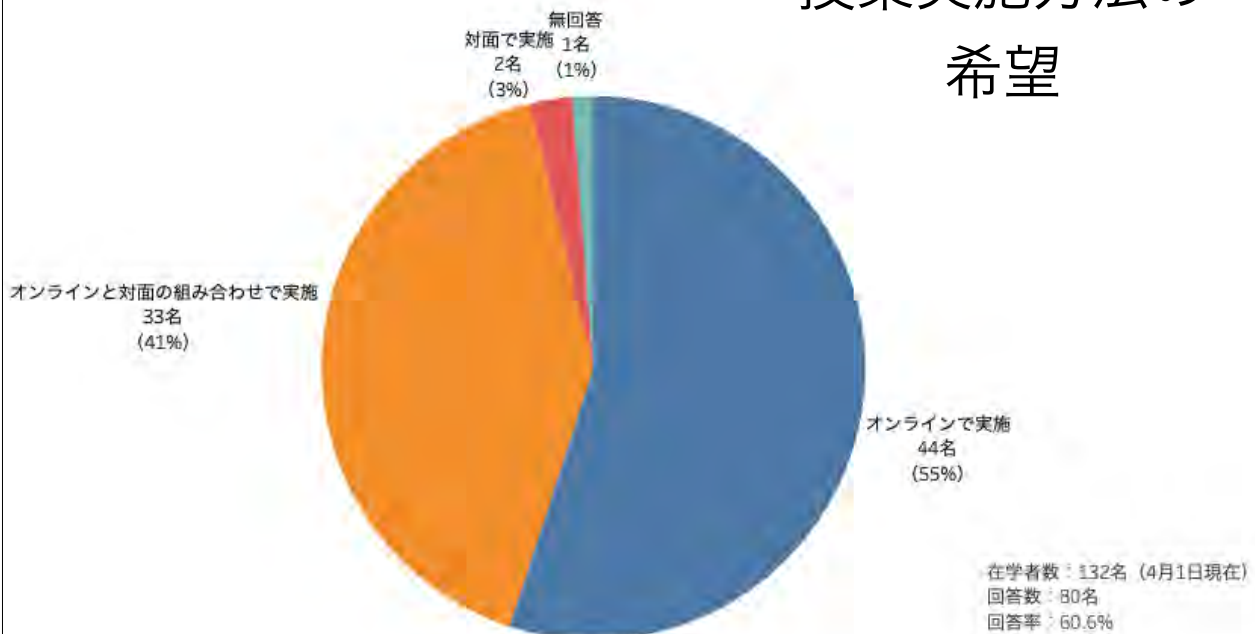
1

オンライン授業への 満足度 (2020年度前期)



在学者数：132名（4月1日現在）
回答数：80名
回答率：60.6%

後期の 授業実施方法の 希望



© 2020 Takashi Yokoi

3

前期からの主な変更点

- ✓ 授業や論文指導は15週共通のZOOM URLで実施します。
- ✓ ZOOM URLの設定は事務局が行います。
- ✓ 全学生、教員がZOOMにサインアップしたGmail (g.lec.ac.jp) アカウントで授業にアクセスします。
→学生は授業ごとに第1回授業前に事前登録を行い、毎回の授業開始時の参加承認が不要になります。
- ✓ 出席管理はZOOMのログをもちいて事務局が行います。
- ✓ 授業の収録を行う科目では、録画はクラウドレコーディングで行われ、YouTubeへのアップ、履修者への告知は事務局が担います。

© 2020 Takashi Yokoi

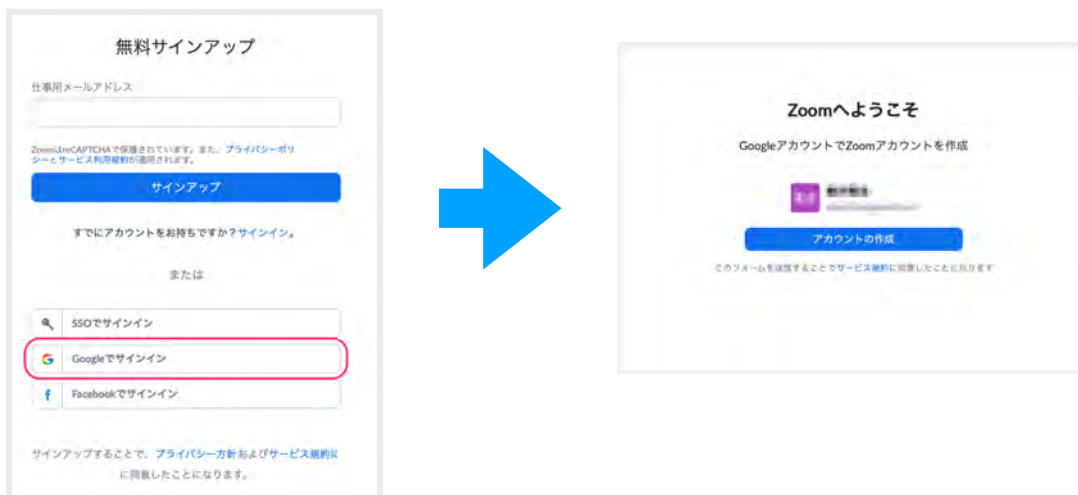
4

アカウントの作成


- ・ ZOOMでミーティング（授業や会議）を主催する際のアカウントを作成します。
- ・ 有料版の教育機関向けプランの下、授業を担当する教員、論文指導でホスト役を担う教員に、40分の時間制限の無いライセンスが割り当てられます。
- ・ 後期、ZOOMの運用法が変わることにより、ホスト役を担わない先生方もGmailアカウント（g.lec.ac.jp）でZOOMにサインアップしていただく必要があります。
- ・ 未登録の先生方は、<https://zoom.us> へアクセスして、画面右上の[サインアップは無料です]をクリックしてください。

アカウントの作成

- ・ 誕生日を入力し[続ける]をクリックしたら、無料サインアップの画面で[Googleでサインイン]を選択し、[必ず大学院の@g.lec.ac.jp のアドレスで](mailto:g.lec.ac.jp)アカウントを作成してください。



アプリを起動する

- ミーティング用Zoomクライアントアプリをパソコンにインストールしていない場合は <https://zoom.us/download> からダウンロードしてインストールしてください。
- ミーティング用クライアントアプリ  を起動し、Googleでサインインをクリックして @g.lec.ac.jp のアドレスでサインインします。

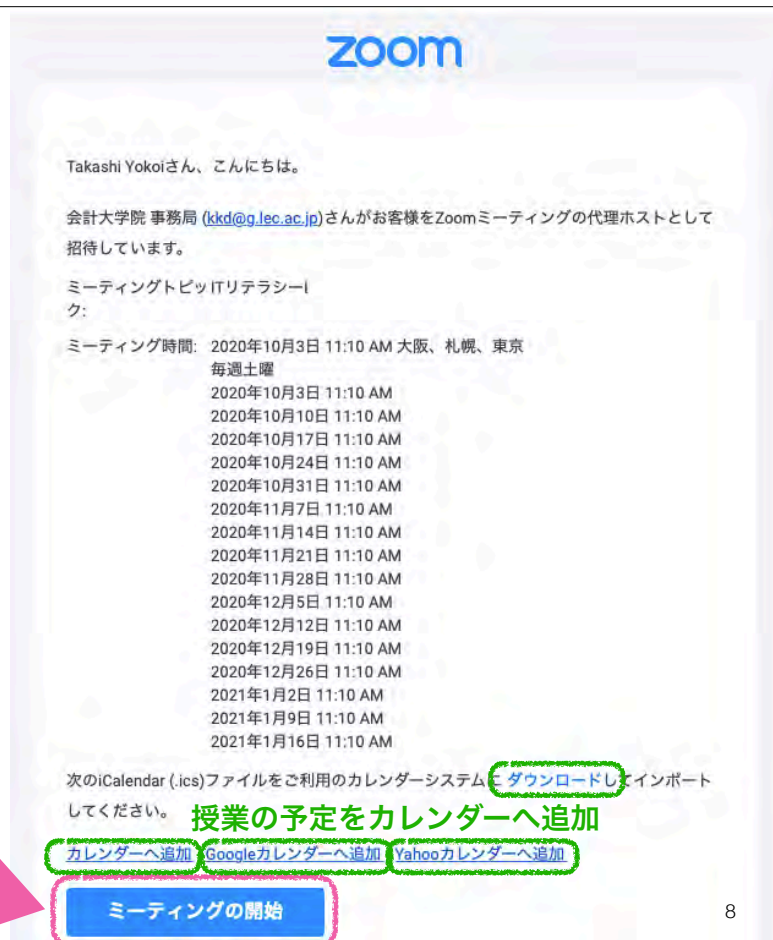


© 2020 Takashi Yokoi

授業を開始する

代理ホストとしての招待メールを学期末まで大切に保管してください。

クリックして
授業を開始



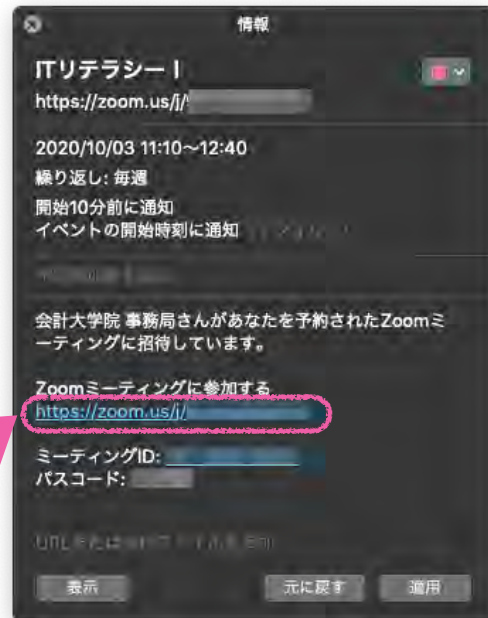
© 2020 Takashi Yokoi

8

授業を開始する

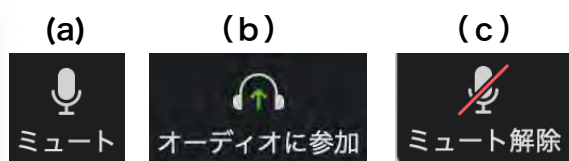
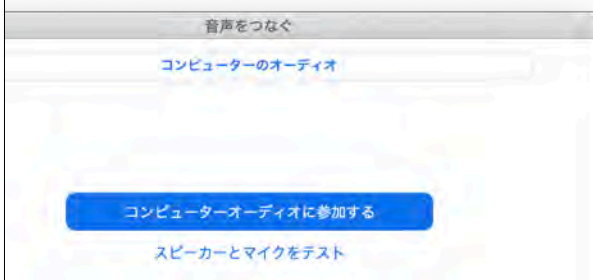
- ・ カレンダーに登録したスケジュールから授業を開始することも可能

クリックして
授業を開始



音声の設定

- ・ 授業の開始をクリックすると、スケジュール時の設定に従い、ビデオが有効になりミーティングの録画が始まります。同時に、オーディオの設定ダイアログが開きますので、必要に応じて[スピーカーとマイクをテスト]していただき、[コンピューターオーディオに参加する]をクリックしてください。
画面左下の音声のアイコンが(a)の状態であれば、履修者に音声が届き、履修者側の音声も聞こえる状態です。
(b)の状態はこちらの音声も届かず、履修者側の音声も聞こえません。アイコンをクリックしてオーディオに参加してください。
(c)の状態はこちらの音声ミュートになっています。ミュートを解除して授業を行ってください。



画面の共有

- 画面下部中央の[画面を共有]をクリックし、手元で開いているウィンドウや画面全体、USBやWiFiで接続したスマートフォンやタブレット、ホワイトボード（手書きで描画できる）を共有することができます。



© 2020 Takashi Yokoi

画面の共有



- 画面共有を行うと、画面上部にコントロールバーが移動します。
[コメントを付ける]では、共有した画面上に直接フリーハンドで書き込みをしたり、テキストやアイコンを追加することができます。
- 画面共有を終了する際は、[共有の停止]をクリックしてください。

© 2020 Takashi Yokoi

12

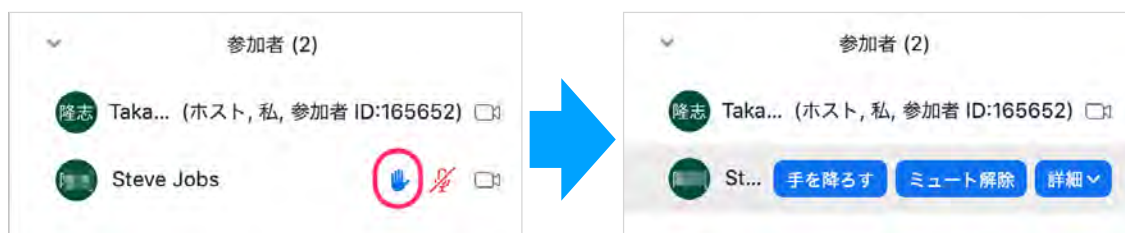
チャット機能

- 画面下部の[チャット]アイコンをクリックすると、履修者全体もしくは特定の履修者とテキストによるチャットを行うことができます。対象は[宛先]で指定します。[...]ボタンから、履修者がチャットのやりとりを行うことができる対象を指定できます。
- チャット機能により、授業開始時に氏名と学籍番号を送信させる、授業中に投げかけた質問への回答をホスト宛に送信させる等により出席確認を行うなどの活用方法も想定されます。



挙手に対応する

- ホスト以外の参加者は挙手をすることができます。参加者が挙手をする、参加者一覧のユーザー名の横にアイコンが表示されます。
- ユーザー名をクリックすると、チャットを立ち上げることができるほか、手を下ろしたり、ミュートを解除して発言させたりすることができます。



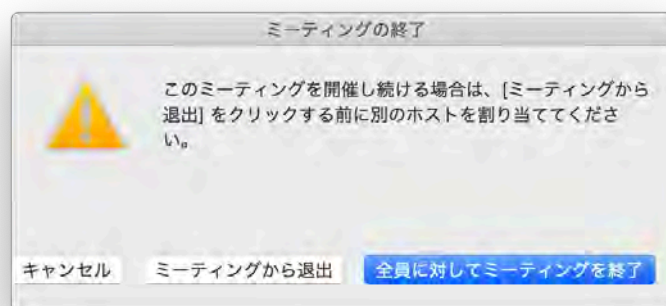
履修者を小グループに分割する

- [ブレイクアウトルーム]機能を使うと、履修者を複数のグループ（ルーム）に分割できます。
ルーム数と割り当て方（自動／手動）を決定したら[ブレイクアウトルームを作成する]をクリックします。
履修者の割り当てを確認し、[すべてのルームを開ける]をクリックします。
[すべてのルームを閉じる]を選択すると、最大60秒の待機時間を経て、小グループが解消されます。



授業の終了

- 画面右下の[ミーティングの終了]をクリックすると確認のダイアログが表示されます。授業を修了する場合は、必ず[全員に対してミーティングを終了]を選択してください。



論文指導への参加登録

- 今学期、各科目のオンライン授業に参加するためには**ZOOMにサインアップしたGmail (g.lec.ac.jp) アカウント**で**科目ごとに事前登録**を行っていただく必要があります。
- 論文指導に携わるホスト以外の先生方も、事前登録が必要です。事務局より、ご担当科目の事前登録URLをまとめたメールが届きますので、お手数ですが、全てのクラスで事前登録をお願いいたします。
- 事前登録はいつでも行っていただくことができます。必ず**Gmail (g.lec.ac.jp)** アドレスで事前登録を行ってください。

17

ホスト以外の教員が論文指導に参加する

事前登録を行い、事務局による承認が完了すると、授業へアクセスするURL、パスワード等が記載されたメールが届きますので、学期末まで大切に保管していただき、毎週の授業にアクセスしてください。

授業や論文指導のZOOMミーティングには、科目別に15回共通のURLが設定され、毎週共通のURL、パスワードで授業へアクセスすることが可能です。

なお、15回共通のURLは事前登録が承認されたユーザーごとに固有のURLが発行されるため、他者のURLで授業にアクセスすることはできません。

「ITリテラシー」へのご登録ありがとうございました。

ご質問はこちらにご連絡ください：[@g.lec.ac.jp](mailto:info@g.lec.ac.jp)

日時：2020年10月3日 11:10 AM 大阪、札幌、東京
毎週土曜
2020年10月3日 11:10 AM
2020年10月10日 11:10 AM
2020年10月17日 11:10 AM
2020年10月24日 11:10 AM
2020年10月31日 11:10 AM
2020年11月7日 11:10 AM
2020年11月14日 11:10 AM

下記のiCalendar (.ics) ファイルをダウンロードしてご自身のカレンダーシステムにインポートしてください。
週ごと <https://zoom.us/meeting/attendee/>

PC、Mac、Linux、iOS、またはAndroidからご参加ください [ここをクリックして参加](#)

パスワード：
注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。
[カレンダーに追加](#) [Googleカレンダーに追加](#) [Yahooカレンダーに追加](#)

こちらのリンクからダウンロードした.icsファイルにより、カレンダーアプリへスケジュールを登録することができます。※システムの制約により、冬休み中にもスケジュールが設定されます。授業が実施される週は学事日程表でご確認ください。

毎週、こちらのリンクから授業に参加してください。

18

論文指導に参加する

- *授業や論文指導のZOOMミーティングにはパソコン、スマートフォン、タブレットのZOOMアプリから参加可能です。
- *事前に<https://zoom.us/download>からアプリをダウンロードしてインストールし、授業に参加する際はGmail (g.lec.ac.jp) アカウントでサインインした状態で授業のURLへアクセスしてください。



19

論文指導に参加する

- *ZOOMミーティングには、ZOOMのクライアントアプリから参加します。アプリがインストールされていない場合、Classroomに記されたリンクをクリックすることで、インストールの案内が表示されます。
- *毎回の授業には、登録完了メールに記された[ここをクリックして参加]からアクセスします。

PC、Mac、Linux、iOS、またはAndroidからご参加ください
パスコード：
注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。

[ここをクリックして参加](#)

リンクをクリック

20

研究指導 構成副査の先生方へ

研究指導用スケジュールの告知方法について

- 今学期は、各クラス・班の単位でZOOMミーティングが設定されます。
→例) 完成クラス 伊東班 (土曜2限～5限・・・11:10～18:20)
このミーティングに2限、4限、5限に割り当てられた院生10名が招待されます。
- 初回のフィードバックの際、学生が指導を受ける時限と指導順の告知をお願いいたします。

ビデオ会議システムZOOMによる オンライン授業 受講方法のご案内

<参加者用>
LEC会計大学院

作成：横井隆志

1

後期の授業実施方法について ～前期からの変更点～

- 授業を受けるためには、大学院のGmail (g.lec.ac.jp) でZOOMにサインアップしていただく必要があります。
 - 履修科目ごとに参加登録（初回のみ）が必要になります。
ZOOMにサインアップし、授業への参加登録が承認されたLEC会計大学院の在学生（g.lec.ac.jpアカウント）のみに授業へのアクセスが許可され、授業ごとに、在学生の皆様固有のZOOM URLが発行されるため、より安全に受講いただくことが可能になります。これにより、待機室が不要になり、毎回の授業で入室の承認を受ける必要がなくなります。
 - 上記の運用変更に伴い、ZOOMミーティングにはクライアントアプリからアクセスが必須になります。（アプリを利用しないWebブラウザからのアクセスはできなくなります。）
 - 履修科目ごとに15回共通のURLから授業へアクセスしていただくことが可能になります。
- ✓ ZOOMによるオンライン授業を導入した5月以降、Zoom Video Communications, Inc.によるサービスやクライアントアプリの積極的なアップデートが行われてきたことを受け、現時点で最も安全かつ効率的で利便性の高いかたちでの運用を行うために上記の変更を行うことといたしました。ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

2

ライブとオンデマンドに対応

- 授業や論文指導はZOOMにより**リアルタイムに視聴**していただき、双方向にやりとりすることが可能です。
- あわせて、通信環境の制約等によりリアルタイム視聴が困難な方への対応として、必修科目と一部科目の授業の様子は録画され、YouTubeの限定配信により、**履修者限定で一定期間、オンデマンドで視聴いただけます**（視聴可能期間は科目ごとに異なります）。
- ZOOMによる授業の様子を録画する際、履修者の皆様の様子が含まれる場合がありますので、予めご了承ください。

3

ZOOMへのサインアップ

- 後期、授業を受けるためには、大学院のGmail (g.lec.ac.jp) でZOOMにサインアップしていただく必要があります。
- <https://zoom.us/signup>へアクセスし、検証のために生年月日を入力した後、必ず[Googleでサインイン]を選択して、ご自身のGmailアドレス (g.lec.ac.jp) とパスワードでサインインし、[アカウントの作成]を行ってください。

無料サインアップ

仕事用メールアドレス

CAPTCHAコード

サインアップ

すでにアカウントをお持ちですか? サインイン。

または

SSOでサインイン

Googleでサインイン

4

Zoomへようこそ

GoogleアカウントでZoomアカウントを作成

アカウントの作成

このフォームを送信することでサービス規約に同意したことになります

履修科目への参加登録

- 今学期、各科目のオンライン授業に参加するためには**ZOOMにサインアップしたGmail (g.lec.ac.jp) アカウント**で**科目ごとに事前登録**を行っていただく必要があります。
- 履修登録を行うと、初回授業の前にミーティングへの事前登録の案内がGoogle Classroom内の各授業のクラス内に掲示されます。
- 案内が掲示された後、事前登録はいつでも行っていただくことができます。必ず**Gmail (g.lec.ac.jp)** アドレスで事前登録を行ってください。
- 事前登録を行っていただいた後、事務局で履修登録と照らし合わせて参加承認を行いますので、事前登録は初回授業までに余裕を持って行ってください。

5

授業や論文指導に参加する

事前登録を行い、事務局による承認が完了すると、授業へアクセスするURL、パスワード等が記載されたメールが届きますので、学期末まで大切に保管していただき、毎週の授業にアクセスしてください。

授業や論文指導のZOOMミーティングには、科目別に15回共通のURLが設定され、毎週共通のURL、パスワードで授業へアクセスすることが可能です。

なお、15回共通のURLは事前登録が承認されたユーザーごとに固有のURLが発行されるため、他者のURLで授業にアクセスすることはできません。

「ITリテラシー」へのご登録ありがとうございました。

ご質問はこちらにご連絡ください: [@g.lec.ac.jp](mailto:info@g.lec.ac.jp)

日時：2020年10月3日 11:10 AM 大阪、札幌、東京

毎週土曜

2020年10月3日 11:10 AM

2020年10月10日 11:10 AM

2020年10月17日 11:10 AM

2020年10月24日 11:10 AM

2020年10月31日 11:10 AM

2020年11月7日 11:10 AM

2020年11月14日 11:10 AM

下記のiCalendar (.ics) ファイルをダウンロードしてご自身のカレンダーシステムにインポートしてください。

週ごと <https://zoom.us/join/attendee/>

PC、Mac、Linux、iOS、またはAndroidからご参加ください

パスワード:

注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。

[カレンダーに追加](#) [Googleカレンダーに追加](#) [Yahooカレンダーに追加](#)

こちらのリンクからダウンロードした.icsファイルにより、カレンダーアプリへスケジュールを登録することができます。※システムの制約により、冬休み中にもスケジュールが設定されます。授業が実施される週は学事日程表でご確認ください。

[ここをクリックして参加](#)

毎週、こちらのリンクから授業に参加してください。

6

授業や論文指導に参加する

- *授業や論文指導のZOOMミーティングにはパソコン、スマートフォン、タブレットのZOOMアプリから参加可能です。
- *事前に<https://zoom.us/download>からアプリをダウンロードしてインストールし、授業に参加する際はGmail (g.lec.ac.jp) アカウントでサインインした状態で授業のURLへアクセスしてください。



7

授業や論文指導に参加する

- *ZOOMミーティングには、ZOOMのクライアントアプリから参加します。アプリがインストールされていない場合、Classroomに記されたリンクをクリックすることで、インストールの案内が表示されます。
- *毎回の授業には、登録完了メールに記された[ここをクリックして参加]からアクセスします。

PC、Mac、Linux、iOS、またはAndroidからご参加ください
パスコード：
注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。

[ここをクリックして参加](#)

リンクをクリック

8

論文指導に参加する（全体講義を除く）

- 論文指導のZOOMミーティングは90分 1時限単位で設定され、指導順と目安の指導開始時刻はGoogle Classroomで提出ファイルへのコメントが返却される際に構成副査により案内されます。
- 毎週の研究指導には、90分フルで参加していただいても結構です。
- 遅くとも、指導開始目安時刻までにZOOMミーティングに参加してください。

9

参加方法の選択



カメラが搭載されたパソコン、スマートフォン、タブレットの場合、ビデオ付きで参加できます。いずれかの「参加」ボタンを押してください。

出席確認のため、差し支えなければ、ビデオ付きでご参加いただければ幸いです。参加ボタンを押していただくと、担当教員の画面に通知され、教員から承認され次第、ミーティング画面が表示されます。

10

オーディオの設定

- ・ ミーティングに参加したら[コンピューターオーディオに参加]してください。主催者、参加者の声を聴いたり、自身の声を届けたりすることが可能になります。左下の[オーディオに参加]ボタンから参加できます。



11

ビデオ・音声の設定



↑
マイクのON/OFFを
切り替える

↑
ビデオON/OFFを
切り替える

※クライアントアプリから参加する場合、ビデオのアイコンの右の ^ からバーチャル背景（背景を認識し、画像等で置き換える）の設定が可能です。パソコンのスペックによっては、うまく表示されない場合があります。

12

発言する

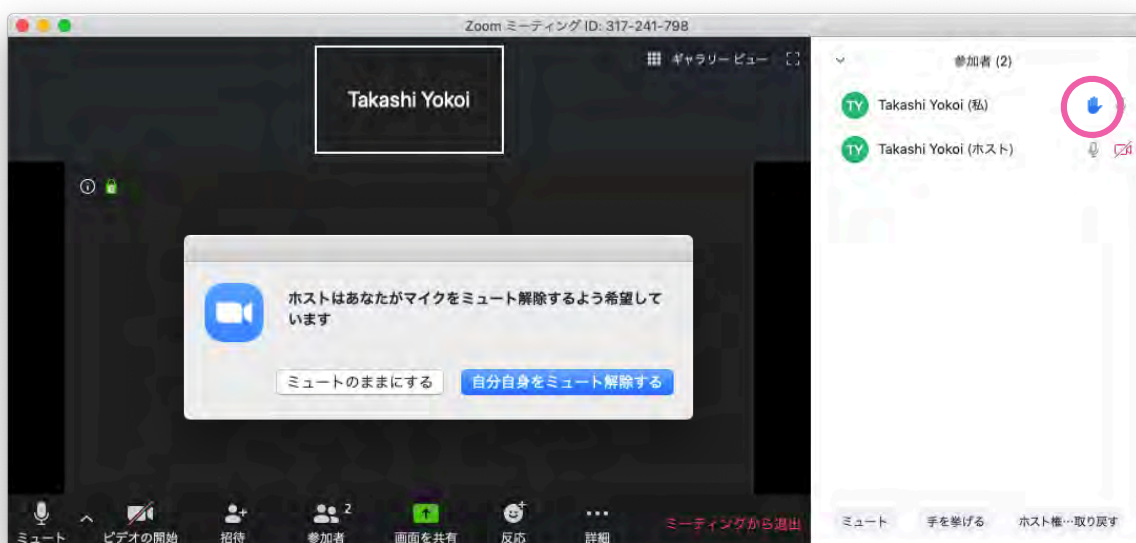
ミーティング内で挙手をすることができます。
画面下部の[参加者]をクリックし、[手を挙げる]ボタンをクリックしてください



13

発言する

手を挙げると主催者の画面に通知され、ミュートしている場合、主催者がミュートを解除しようとするすると画面上に通知されます。自身のミュートを解除して発言してください。



14

文字でチャットを行う

全参加者もしくは特定の相手（許可されている場合）と文字のやりとりが可能です。チャットアイコンをクリックし、[宛先]で対象を指定してください。



15

ミーティングから退出する

画面右下の[ミーティングから退出]をクリックし、ダイアログで再度[ミーティングから退出]ボタンを押します。主催者がミーティングを終了すると、自動的にウィンドウが閉じられます。



16